



北海道地方

郷土風景美化と並木植栽

北海道に於ては行幸記念事業として劃一的郷土風景美化事業道路の並木植栽は先づ膽振日高兩支廳管内千二百キロを撰び施行することとなつた、樹種は氣候風土を考慮して櫻、梅、松、楓、アカシヤ、プラタナス、リンデン、ネクンド等の中から選定植栽するのであるが、十二年度の豫定は四百キロで一、伊達紋織——長流間、壯竈——長流間は櫻、二、室蘭——鷺別間登別——敷生間、高江——靜内間は楓、ネクンド。苫小牧町地内、安平村早來地内、安平地内

地方通信

東北地方

宮城縣に於ける道路保護功績者の表彰

宮城縣に於ては年々紀元節の佳節を下し管下道路保護組合及各工區に於ける修路夫にして其の功績の顯著なるものを選抜し表彰し來りたるが本年も恒例に依り紀元節の佳節に當り夫々考査を遂げ道路保護組合に對しては一等賞に優勝旗及金壹封を授與し以て表彰を爲したり。

今表彰せるものを掲ぐれば次の如し

道路保護組合

賞状

桃生郡大鹽村道路保護組合
同 郡北 村道路保護組合
宮城郡大澤村道路保護組合
作業成績優良にして他の範とするに足る
仍て道路保護獎勵規程に依り優勝旗及金壹
封を授與し之を表彰す
昭和十二年二月十一日

宮城縣知事從四位勳三等 菊山嘉男
以上は一等賞として賞金は金五拾圓とす

伊具郡耕野村道路保護組合
黒川郡富谷村道路保護組合
互理郡逢隈村道路保護組合
伊具郡大張村道路保護組合
以上二等賞にして賞金參拾圓とす賞狀一等
に同じ

栗原郡金田村道路保護組合
名取郡千貫村道路保護組合
黒川郡大谷村道路保護組合
名取郡増田町道路保護組合
黒川郡宮床村道路保護組合
加美郡賀美石村道路保護組合
以上三等賞にして賞金貳拾圓とす賞狀は一

二等に同じ
修路夫

賞 状

宮城縣修路夫

南 館 養 治(大河原工區)

同 保 科 兵 作(〃)

同 相 澤 貞 藏(仙臺)

同 櫻 井 辰 三 郎(鹽釜)

同 大 場 末 藏(古川)

同 中 川 東 七(〃)

同 齋 藤 正 太 郎(築館)

同 島 津 武(石巻)

同 菅 原 菊 太(佐沼)

同 高 橋 謹 吾(〃)

平素精勵克く其の職責を全ふし作業成績優良にして他の範とするに足る仍て金壹封を授與し之を表彰す

昭和十二年二月十二日

宮城縣知事 菊 山 嘉 男

以上一等賞にして賞金々拾五圓とす

宮城縣修路夫

高 橋 勇 夫(大河原工區)

同 菅 井 常 治(〃)

同 小 林 林 平(仙臺)

同 樋 渡 德 四 郎(〃)

同 齋 藤 金 兵 衛(鹽釜)

同 及 川 儀 左 衛 門(〃)

同 柳 清 六(古川)

同 村 山 德 治(〃)

同 佐 々 木 兵 二(築館)

同 赤 間 孝 治(石巻)

同 千 葉 政 之 助(佐沼)

以上二等賞にして賞は金五圓に相當する物品とす
因に本年よりは表彰修路夫に對し更に白線一本を授與し正帽に之を巻かして表彰を表彰せしむることとせり。

尙本年は各道路保護組合及修路夫中壹等賞は縣廳正廳に於て二等賞以下は各工區事務所に於て夫々傳達式を舉行し工區職員、修路夫其他關係者參列の上賞狀、賞品を授與したり。

秋田市の大都市計畫道路事業

業

秋田縣秋田市では大秋田市の建設を目ざして大都市計畫道路擴張の企畫を立て其の實行に努力してある、之れに依つて土崎、

新屋、廣山田を合併し得るに至らば其の目的を達成するのである、其の計畫中の十二幹線は左の通である。

△土崎線 川尻町戸野境西部國路を起點とし土崎電車線路に沿うて土崎港町土酒田町雄物川埋立地に到る幅員二十二メートル

△新屋線 土崎驛起點より茨島を経て秋田大橋に至る新國道幅員十八メートル

△牛島線 茨島において新屋線から分岐し羽越線鐵路を横斷、御茶屋橋北詰に到る幅員十八メートル

△赤沼線 平形堀反町から奥羽本線線路を横斷赤沼三吉神社脇に到る幅員十一メートル

△長野下廣面線 長野下新町通り東端より奥羽本線を横斷して廣山田村廣面に到る幅員十一メートル

△十軒町通線 十軒町より築山小學校脇を通り大平川岸に到る幅員十一メートル

△馬喰町線 馬喰町より總社脇に到る幅員十一メートル

△中島線 鷹匠町新中島本町を経て平形線兵場北に到る幅員十一メートル

△東根小屋町線 東根小屋町より笹町を經
太平川までの新國道に到る幅員十一メ
ートル

△室町保戸野線 室町より田中町を通り男
師脇に到る幅員十一メートル

△大堰端線 長野下新町通り東端より大堰
端を經て牛島驛前に到る幅員十一メ
ートル

△保戸野中町線 土崎線から分岐し男師前
を通り鷹匠町に到る幅員十一メートル

山形縣の道路工夫の表彰計 畫

山形縣に於ては道路、河川工夫の「表彰
會」を設立し道路、河川工夫の表彰を施行
することとなつた、其の表彰の方法は縣
下各土木出張所が中心となり工夫の成績を
詳細に調査し、品行、成績、共に優秀なる
ものを報告し精査の上一等一名、二等三名
五等十名の十四名を決定し賞金並に表彰狀
を授與し尙知事より一等には金筋、二等に
は銀筋三等には白筋の帽帶を贈り向ふ一ヶ
年間之を使用せしむるのである。

關東地方

栃木縣下押切橋の開通

栃木縣に於て昨十一年七月着工し施行中
であつた宇都宮市押切橋は愈々竣工し三月
五日其の開通式を舉行した。同橋は工費二
萬圓餘を投じたコンクリートのモダン橋で
ある。

北陸地方

富山縣高岡市の道路改修の 大計畫

高岡市に於ては十二年度事業として總工
費十八萬圓四千五百四十圓を投じ道路改修
舗裝工事を左の二十七路線に對し施行する
の計畫を立てた。

改修工事 關町、上關町延長二百三十間、
幅三間△大工中町踏切附近延長三十間、
幅三間△横田下窪延長五十間、幅二間△
御馬出町、上川原町間、延長百十二間、

幅三間△小馬出町、内免町間延長三百六
十七間、幅三間△定塚町、渚本町間延長
百四十三間三分、幅三間△横田町守山線
横田産組間延長五十一間、幅三間△赤祖
父京田間延長六百八十七間、幅三間△下
關地内グリーンホール横通延長七十間、幅
三間△宮の腰地子木町線有磯神社横延長
七十五間、幅三間△平米町曙町間延長六
十六間、幅三間△上關下黒田間延長三百
二十五間、幅三間△下川原町歌舞伎座横
延長四十間、幅二間△二上守護町間四百
五十間、幅三間△南町、濱田橋商工青年
學校前通り延長百九十間、幅三間△百姓
町、甲島間延長五十一間、幅二間△大福
院通り延長五十三間、幅二間△大坪町地
内岡生病院前通り延長二百三十六間、幅
三間△大野和田線清水町地内延長七十二
間、幅三間

市道舗裝工事 御馬出町百五十三間△三番
町九十六間△二番町百七十二間△鴨島町
三十九間△新幸橋通り二百八十一間△下
川原町日本館横通り十七間△木舟町篠原
通り三十六間

東海地方

愛知県道路保護共進會の狀

況

岡崎、母舉兩縣土木工區の道路愛護共進會褒賞授與式ならびに修路工夫選獎式は三月二日午前十時から岡崎市中央公會堂で舉行、山口縣土木部長をはじめ小坂道路、松波經理兩課長、菅野市長、杉山縣議等ら多數來賓が出席した。

(共進會受賞者) 四等 (一)、二、三等等な
し、西加茂郡藤岡少年赤十字團道路愛護會、北設樂郡稻橋村中當道路愛護會、東加茂郡松平村青年團幸海支部酒吞支會、北設樂郡武節村川手青年團道路愛護會、額田郡豐富少年赤十字團、東加茂郡賀茂村玉野道路愛護會同村千田道路愛護會、西加茂郡三好第三少年赤十字團、額田郡宮崎少年赤十字團、東加茂郡盛岡村四ツ松河西道路愛護會、西加茂郡小原消防組第三部道路愛護會(五等東加茂郡賀茂村二々宮道路愛護會ほか三十三團體)(被表

彰者) 一等左右田武雄、池田鑛三、天野坂一、柴田磯吉、小野正行、番野菊一、山本千代松、柴田新太郎、深見善太郎、鈴木繁治、浦野金太郎、二等岩月廣吉、神取眞一郎、青山稔、天野鶴一、三浦三造、鈴木市九郎、牧善太郎、中根銀太郎、小木會市太郎、近藤清、磯谷鎌一、岡田兼松、柴田劍一(三等高須健一ほか十三名、四等杉浦岩太郎ほか七名)
豐橋、新城兩土木工區管内、豐橋、渥美實飯、八名、南北設樂の東三市五郡十一年度中における修路河川工夫選獎ならびに道路愛護共進會褒賞授與式を三日午前十時から豐橋市新川小學校講堂において舉行、山口縣土木部長、土木部各課長、服部豐橋西昭新城兩工區出張所長をはじめ縣會議員關係町村長、豐橋市長、道路愛護共進會參加團體代表らを來賓に招く、表彰される豐橋工區管内の分左の通り

(選獎修路河川工夫) 一等松山茂、大竹菊治、杉浦喜作、荒木富八△二等村田常一河村光信、林甚七、朝倉皆吉△三等小野宗三、村上榮次郎、小久保秋治、宮城俊雄、宇野勝次、林莊助、木村太吉、磯部雄次
三重縣に於ては去る二月十一日の紀元節の佳辰を下して同縣縣會議事堂に於て縣下各種事業團體表彰式と同時に褒賞規程に依る優良道路工夫の表彰式を舉行せらる受賞代表九名、審査員其他關係者一同參列午前十一時より人事課長開會の辭を述べ次で安藤知事より一、二、三等の順位に表彰狀及賞金並銀線、白線又退職優良道路工夫へは同じく表彰狀及銀盃一個を授與せられ安藤知事の訓示ありて午後二時嚴肅裡に閉會直ちに座談會的祝宴を催し三時解散せり當日の優良道路工夫は左の區分に依り表彰せられたるものなり。

現職道路工夫にして平素業務に精勵し克く道路の維持修繕を全し成績優良他の模範

となるものに對し左の通白線竝に銀線を附與せり。

銀線壹條 安坂武一郎 外一名

白線參條 天花寺 喜之助 外一名

同 貳條 楢本 清一 外七名

尙記優良道路工夫にして成績優秀及品行方正其の他道路工夫としての諸要件を具備し拔群の功績顯著なるものに對しては特に壹等參拾圓貳等貳拾圓參等拾圓の獎勵金を交付して道路工夫の素質向上に勉むると同時に道路の維持修繕に萬全の努力を拂はしめ維持修繕の完璧を期することとせり受賞者左の通

壹等 鈴木多右衛門外一名

貳等 下村 源太郎外四名

參等 戸崎 藏之助外七名

退職道路工夫にして滿二十ヶ年以上道路工夫を勤績し在職中常に業務に精勵克く道路の維持修繕に任じ其の功績顯著なりしものに對しては永年の勞を犒ひ且つ一般世人に道路の重要性を喚起せしむる目的を以て特に功勞賞として銀盃一個宛を贈呈せり。

銀盃壹個 二十二年七ヶ月勳績

和手 國藏

地方通信

二十七年一月ヶ月

土井 宇市

二十三年八月ヶ月

松木 繼次郎

同 二十年五月ヶ月

澤田 春吉

近畿地方

滋賀縣土木協會設立の氣運

滋賀縣では土木事業の普及徹底を圖らんが爲めに土木協會を設立せんとする氣運を醸成したが同協會は土木出張所管轄區域の市町村を會員として七ヶ所に設け縣土木課に土木協會聯合會を置くわけで、各協會には專屬の職員をおき協會員たる市町村などの土木地理水利土工に關する立案、調査測量、設計、手續、指導、監督などに關する事項を處理させ會員の疎出する會費と一般依頼に係る事件の手数料などもつて維持費に充當する方針で、これが設立の曉には市町村役場の取扱ふ土木關係の事務は大いに平易簡略化され、近時赤字で喘ぐ市町

村は經費多端のため土木職員を設置する餘裕がなく、この點に着眼して同協會が誕生したゞけにこの方面の缺陷は救はれ、他面には普く土木行政の圓滑な進歩刷新を期することができるといふ一石二鳥式のものである。

大阪の一名橋大浪橋の開通

大阪市内津川大正橋の下流約五百メートル、省線臨港線の少し下手に大浪橋といふ新しい橋ができ全長八十メートル、幅二二メートル三〇、昭和橋等と同型で大正橋の交通地獄を經由せねば聯絡できなかつた大正、浪速兩區間のショートカットとしてその名も兩區の頭文字を伸よくとつたわけ、工費四十五萬圓、兩岸取付道路の竣工三月盛大な渡初式を行ふた。

「父は長柄の人柱」の物語り

大阪の名橋長柄大橋の架替工事は一ヶ年半餘の時日を費し竣工した其の工事概要は昨年七月號本誌(一七五頁以下)に掲載したが其の舊橋に因める「父は長柄の人柱」の物語は斯うである。

今を距る千三百二十餘年の昔、攝津の國長柄江（現在の長柄橋の邊りから吹田町、豊能郡豊津村垂水にわたる一帯）は山陽、山陰兩道から大和の都に通ずる要路に當つてゐたが、一風、一雨ごとに河水は氾濫、橋はことごとく押し流され幾度かの架橋、治水工事も全く効がなかつた、この時垂水の長者巖氏は自ら人柱となつて萬民の惱みを救はうと政廳に獻言した、やがてその日が定まると、巖氏は齋戒沐浴して白衣を襲ね、用意の石櫃に入り法華經を誦しつゝ橋杭の下深く、生きながら埋められたのである。

果して靈驗が顯はれて架橋工事は難なく竣工したので、人々はこの橋を利用して沼澤を埋め水路を正し、都鄙の交通も容易となり萬民みな巖氏の恩恵に浴するに至つた朝廷におかせられても深くその赤心を慰れませ給ひ、巖氏冥福のため、その埋地地の畔に一寺を建立あらせられた、これが今の大願寺である。

巖氏には河内禁野の徳永氏に嫁いでゐた娘照日があつた、父の人柱以後悲哀の末、物いはぬやうになつた、夫はいろ／＼と慰め

たがその甲斐なく遂に照日を親許に送り歸さんと籠に乗せ、附き添つて長柄橋を通り垂水の里にさしかゝつたとき、叢に雉子の鳴く聲が聞えたので夫はこれを射止めた、その時照日は籠の中から「物いはじ父は長柄の橋柱なかつたば雉子も射たれざらまし」と詠じさめ／＼と泣き入つたので、夫は隣れに思ひ雉子を畔に埋めた（雉子囀の遺碑あり）照日の遁世の願ひはつひにやみがたく山崎寶寺の畔（東海道線山崎驛北方）に庵を結び物いはぬ尼として行ひすましたといふのである。

四 國 地 方

高知縣の道路愛護會の活動

高知縣高岡郡蓮池村道路愛護會では二月十四日努力奉仕として道路の清掃を行ふたが七十歳以上の老人四名も参加し縣渡邊經濟部長一行の作業檢閲を受けた。△安藝郡和食村修養園は道路愛護週間行事の一として二月十二日村内道路の修繕を行ひ豫期以上の好成績を擧げた、△土佐郡朝倉村東横

町道路愛護會では二月十三日部落總出にて縣道、里道、河川に至るまで修繕掃除を行つた。△香美郡岩村道路愛護會では二月十七日道路愛護週間に於ける行事を施行し在郷軍人、消防組員、男女青年團員、國防婦人會員、小學校青年學校生徒各種團體及一般村民總掛りにて縣道は勿論村内各道路の修繕、清掃、美化作業に従事した。△香美郡山北村道路愛護會では二月十四日村長村會議員、及會員二百八十六名出動し小學校四年以上の兒童、青年團員も参加して路面の改修に従事した。△香美郡夜須村道路愛護會では二月十五日舉村村内道路の修繕清掃に對し涙の努力を以て従事したので小林知事は特に一般村民の熱意ある作業の實況を視察して感謝の意を表せられる所があつた。△高岡郡尾川村道路愛護會では二月十五日夜來の降雪に遭遇したるを以て會員、國防婦人會員、男女青年團員、實業青年學校職員生徒等三百五十餘名參集深雪取拂作業に盡し更は除草、不陸均し溝浚、危險防護柵の作業に従事し好成績を擧げた、△高岡郡佐川町では道路愛護週間と交通安全デーである二月十五日連山沃野の銀世界と化

し交通杜絶の狀態下に實業青年學校校長職員生徒等四百名の道路愛護會員は積雪の取除に努力し大なる成績を挙げた。△香美郡山南村道路愛護會では二月十五日三百餘名參集し縣道及部落主要道路の清掃、修理作業に従事し「郷土開發は先づ清路から」をモットーに理想郷建設に共同の第一歩を印した。△高岡郡新莊村では道路愛護週間中二月十五日青年團が主體となり道路愛護會員と共に村内縣道の手入、砂配砂撒き其他の奉仕作業に従事した、小學兒童五十餘名も參加したが折柄の風雪を犯しての涙ぐましき努力は村民に多大の感動を與へ特に縣警察部長の視察があつた、△同郡窪川町川口道路愛護會で各種團體員と共に五百名が出動し縣道其の他の道路の修繕、清淨、美化に奉仕した、又運送業者が貨物自動車の空車を利用しての砂利運搬奉仕は臨機の作業として注意をひかれた。△同郡北原村は舉村出動新莊村は道路愛護會員百名、上分村は百六名、下半山村は二百八十二名、上半山村は百十一名、松葉川村は二百十名大野見村は三百四十七名、東津野村は百二十名、須崎町は道路愛護會在郷軍人會消防

組青年團、國防婦人會、上級小學兒童總數千二百名出動して各砂利配、清掃路面不陸均し等の作業に従事した。△高岡郡越知町道路愛護會では二月十六日小學校職員上級兒童、消防組等參集し崩土取除運搬、路面不陸均し等の作業に従事した。△幡多郡下川口村では二月十四日村内各種團體を總動員して道路愛護作業に従事したが中には若男女がゴム足袋姿に身を固め手に手に鍬又は鎌を持ち降りしきる鏗を犯しての路面均し除草溝溝、砂利採取崩土取除等道路の修繕清掃に努力した有様は未曾有の光景であつた。△同郡藤岡村では道路愛護會主催で二月十六日全村一齊に清路奉仕に従事した。△高岡郡東津野村では二月十五日主として消防組出動し道路清掃に従事した、同郡伊野町では小學校上級兒童が道路愛護週間中道路修繕清掃任業に従ひ良好なる成績を挙げた。△香美郡赤岡町道路愛護會主催で、村を舉げて出動し二月十七日道路清掃作業を行ふた其奉仕者中に七十八、九歳の老嫗三人も打交り竹箒を手に參加したので一同緊張裡に終始した。△長岡郡田井村では二月十六日道路愛護會、消防團、國防婦人

會、男女青年團、處女會等七百名出動し愛護作業に従事した。△幡多郡内の道路愛護作業振を總括すると高原支廳長、島田土木土居農業、宮口學務各課長、井添技手等が巡視督勵し十四、五兩日は渡邊經濟部長一行が來郡視察したが折柄海軍機捜査のため在郷軍人、青年團、消防組等出動を要することとなり一部の日程變更はあつたが小學兒童より八十四歳の高齡者に至る總人員二萬二千四百四十五名の奉仕により管内府縣道延長四四四キロ(一一一里)里村道二四四キロ(六一里)修理し全般に互り豫期以上(好成績を挙げ愛護週間を有意義に終つた、町村別奉仕人員次の通りでこの内七十七歳以上の高齡者九十三名ある、各町村奉仕人員左の如し)

一般の奉仕人員

- 津大村一、一一四△奥内村一、〇五〇△三原村六一〇△小銃紫村一、〇一二△大正村七〇六△昭和村五四一△十川村五二二三
- △後川村七一△七郷△五四〇△月灘村五六五△下川口村四七六△江川崎村四四九△和田村四四八△白田川村四四〇△佐賀村一九七△中筋村二七〇△具岡村二五

五△中村町二二〇△宿毛町二四四△清水町五五七△伊豆田村二七一△富山村二三六△東中筋村一六三△蕨岡村一五七△平田村一四七△橋上村二〇七△東山村二二三△山奈村二一八△川ノ口村七五二△下田町七六二△八束村三九八△上灘村二九四△大川筋村四一八△三崎村三六八△入野村三七〇△計一五、八一三外に荷馬車奉仕一〇臺、トラツク六臺。

小學兒童奉仕人員

津大村七九二△奥内村一五〇△七郷村四〇八△三崎村二五〇△下川口村五三〇△入野村一八〇△伊豆田村一六五△江川崎村九九△東中筋村五六△具岡村一三八△中筋村九六△清水町六三〇△蕨岡村二五〇△平田村一三四△佐賀村一三〇△後川村二六△三原村四一四△月灘村二六〇△上灘村一七九△大川筋村一二九△下田町二九〇△八束村四五△大正村四五二△昭和村△一二八△十川村三三七△計五、七五六。

高知縣愛路作業の成績と表

高知縣道路愛護協會主催の道路愛護週間の二月十二日乃至十八日に於ての作業も終了し豫想外の成績を収めたが、縣では更に組織の完璧を期するため道路愛護治水施設保全獎勵規程に基き成績優良なものを選出表彰することになつた、この選村は先づ第一次に各土木出張所毎に主幹と警察署長の手で下審査を行ひ優良なものを選出して縣に報告、縣ではこの報告を纏めて審査會に附し表彰者を決定することになつた。

九州地方

福岡市都市計畫の幹線路の

決定

福岡縣福岡市都市計畫事業として吳服町博多驛間の改築工事を施工することとなつた即ち總工費百二十萬圓(初年度七十九萬圓、次年度四十一萬圓)この道路延長四百六十間、幅員十五間で、現在十間の幅員があり博多局附近からカーヴとなつてゐるので吳服町から上小山町東長寺までを東側に五間、博多局から驛までを西側に五間、そ

れぞれ擴げ鋪裝をする、完成の上は博多驛前から築港まで一直線となり博多港が見透しされる。

八幡市の惡道路の鋪裝

「雨傘は頭にさゝず足にさせ」とは八幡市の惡道路を形容した名句であるが、昭和四年失業應救事業として石畳を敷き鋪裝工事を施行し爾來着々道路改良工事が進捗し來たと圖師市長は物語つて居る。

草刈の首冷へくと夕雲雀

巴藤

戀猫やねられぬ夜の灯につかれ
垣つくるはんとすれど繩なしかれ猫
野遊や會て見し寺門ぬけてすぐ
春の山に友待つも來ず湖を見る
目高など夜店に見えて春寒し
球飛んで畑に落ちけり草萌ゆる